



**株式会社 西都すっぽん**  
**代表取締役 野平幸一（ノビラコウイチ）**

**1962年生まれ**

**宮崎県西都市出身**

**家電・自動車等のモックアップ製作会社に30年勤務**

# 引継ぎ内容

- 事業内容

すっぽん養殖・加工・販売

- 引継者

(株)西都すっぽん養殖場

- 引受者

野平 幸一



- 引継時期

平成30年1月

(株)西都すっぽん養殖場から譲渡打診、内諾

平成30年4月

宮崎県事業引継ぎ支援センターへ相談

平成30年7月24日

株式会社西都すっぽん設立

平成30年8月31日

事業譲渡契約調印



# 事業譲受の経緯

- 前職勤務中より、定年後は何か事業を立ち上げたいと思っていた。
- 前オーナーは、建設業経営の傍らすっぽん養殖を8年ほど経営していたが、高齢の為、後継者を探されていた。
- すっぽん養殖は、孵化して出荷サイズになるのに4年～5年かかる。せつかく、ここまで苦勞して経営されてきたのに廃業は勿体無いとの思いで、早期退職して会社を設立し事業を引き継いだ。





# 課題（苦勞したこと）

- 前オーナーとは、すっぽんの養殖や、餌やり、採卵孵化、捌きかた等勉強させて頂いて関係は良好であったが、将来のリスクを踏まえ宮崎県引継ぎ支援センターに相談。双方の要望を調整して頂き契約書作成等を支援してもらった。



# 引継ぎ後努力していること (販売促進・生産性向上等)



- 全国ですっぽんの養殖が行われているが、弊社は特徴のある物を作っていないと認められないとの思いでブランド化を目指した。
- すっぽん独特の匂いをどうにかならないか・・・  
そこで地元西都市の特産物である柚を使った飼料を開発した。知り合いの柚加工会社では、果汁を絞った残渣を産業廃棄物としてお金をかけて処分しており、その残渣を無償で頂いている。  
宮崎県水産試験場や、発明協会に相談し「ゆずすっぽん」の商標出願した。翌年、商標登録完了。
- 西都商工会議所・宮崎県よろず支援拠点指導のもと、平成29年度補正事業承継補助金の採択を受けた。補助金で引き継いだ養殖池の補修・ビニールハウス・ボイラー設備・管理事務所等の整備を行った。
- 販売は、ふるさと返礼品の売上げが多く、おいしい、匂いが無いとの評価を得ておりリピーターが増えている。
- 活のまま、卸している料亭さんからは刺身、生血が良いと「ゆずすっぽん」のブランド名を使ってお客様に提供して頂いている。

